

日本植生株式会社

(会社名・団体名等)

連絡先 (公表可能な範囲で ご記入下さい)	(住 所) 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目12-28 大昇ビル (担当部署等) 環境緑化部 大阪営業所 (電話番号等) TEL : 06-6388-8283 FAX : 06-6388-8449
-----------------------------	--

製品等の名称	「間伐材利用植生マット」	
製品等名称 の説明	従来、崩壊斜面やのり面緑化資材として多く活用される植生マットに保水剤の代わりに間伐材を木毛状にして装着したもので、従来は鉱物系あるいは化学系保水材を活用していた。間伐材を木毛状にしたものを活用することにより、自然木材の自立呼吸運動により吸放水を繰り返し、植物の生育に必要な水分をごく自然に取り込むほか、間伐材の利用促進及び地球温暖化対策、環境負荷低減に寄与する緑化復元用製品である。	
取組の きっかけ	地球温暖化の最大要因は炭素の放出による二酸化炭素濃度の上昇であり、二酸化炭素を体に蓄え成長する植物は炭素の貯蔵庫と言われており、材として使用しても炭素は蓄え続けられている。間伐により森林の体力を回復させることは、地球温暖化防止に直結しており、特に国産間伐材を活用することは、森林の持つ国土保全機能を発揮させ、有効な天然資源の活用と包括的な環境負荷低減につながることから、環境創出企業として、国土の緑を回復させる緑化資材に活用しようと製品化を考えたものである。	
製品等の 内容・特徴	緑化製品の裏全面あるいは基材袋の中に木毛状に加工した間伐材を充填し活用している。 間伐材木毛の活用により、元来自然木材のもつ自立呼吸運動により吸放水を繰り返し保水効果が得られ、ごく自然に植物の生育が図れる。 鉱物系あるいは化学系保水剤では期待できない「保温性」が向上し、凍結融解して崩れやすい地盤の急激な温度変化を低減し、安定した緑化を実現する。 間伐材木毛が持ち合わせる繊維の効果により、移動しようとする土砂を確実に安定させることが出来る。当社では、タイプの異なる7種類の製品で間伐材を活用している。	
間伐材の利用量	間伐材を活用した製品を日本全国に安定的に供給するため、長野県と高知県で発生する間伐材を各県森林組合連合会より供給いただいている。(H28年度 22,513kg/346,358㎡、H27年度 22,537kg/309,263㎡、平成26年度 27,824kg/390,826㎡)	
取組による効果等	緑化が衰退あるいは荒廃したのり面、また地震・台風・ゲリラ豪雨による災害で崩壊した斜面に当該製品を活用することにより、間伐材活用という持続可能な天然資源の活用を図れるほか、森林機能の回復による二酸化炭素の吸収、水質浄化、生物多様性の減少阻止等包括的な環境負荷低減が図れ、緑化という資源循環サイクルの側面から地球環境保全と人々の安心できる生活環境の創出に貢献している。	
製品等の写真、図表 掲載する写真や図表はこのスペースに収めて下さい。 このほかに図表や写真がある場合は、別途添付願います。	  製品に装着された間伐材（木毛） 間伐材利用植生マットで住宅を斜面崩壊から守る	